

## 第7回運営委員会

平成29年6月1日(木) 13:30~13:50

ウェルポートなださき 第一、第二研修室

参加者 35名

司会：西崎理事

### 1、開会あいさつ

少しずつ前に進んでいるがまだ不十分。このような会があることで積極的な意見を望みます。

### 2、新任委員挨拶

#### 【交代】

岡山市南区西地域包括支援センター長 矢野氏⇒ 佐藤 佐江子氏

岡山市南区西地域包括支援センター灘崎分室センター長 中上氏⇒ 古家 智文氏

岡山労災病院 地域連携室看護師 浦上氏⇒ 新田 朋子氏

#### 【新規】

岡山光南病院 橋本健二先生

消化器内科専門

### 3、第4回シンポジウムの感想

介護保険施設が複雑な構造であることが分かった。

配布資料が合ったほうがよかった。

フロアの座席について前の空席が目立つ

⇒ 今までは運営委員に前側に座ることをお願いしていたが、今後は自由とする。

会場からの意見：なし

本日 14:00～ 第5回シンポジウム：薬剤 訪問診療について

第6回シンポジウム 9/7 歯科・歯科衛生士と管理栄養士の活動

12/14 運営委員会のみ ⇒第2土曜日

### 4、地域の方への参加の勧め方について

興除・灘崎・藤田の各地区で愛育委員・民生委員の活動について違いがある。

町内会長と各委員が行政縦割りとなっているので町内会長へのあいさつでは進まない。  
地域の連合町内会長への挨拶も、地域包括支援センターからスムーズに声かけが難しい

地区ごとに動き方が違ったり、伝え方を間違えるとトラブルとなる。町内・小学校ごとに関わり方が違う。

御津はどうやって地域を巻き込んで行ったのか？

⇒町内会長と医師会開業医との関係が深くて話を進めていったが苦勞したと聞いている。

病院内で勉強会等の開催で地域の方にも参加してもらっている。継続による地道な努力と市は連絡先をつかんでいるので研修会等の集まりを活用している。

「草の根的な地道な活動」を続ける事が地域へ広げるためには必要か？